

事務事業評価シート

(H.28)No.	1410	(H.27)No.	1410
-----------	------	-----------	------

事務事業名	発達障害早期支援研究事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462301
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	発達障害早期支援研究事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	発達障害早期支援研究事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	3	特別支援教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
本事業を進めることで、発達障害の可能性のある児童を早期発見し、いち早くチャレンジ教室と連携することにより、同教室がより有意義な場所となるのと同時に、学校へ有効な支援の手だてを引き継ぐことができます。それら一連の取り組みを通して、特別支援教育に係る支援力が向上していくものと考えます。		
事業内容		
名張市における特別支援学級在籍児童生徒及び、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒にかかる支援として、拠点校1校と指定校に発達障害支援アドバイザー(拠点校アドバイザー1名、指定校アドバイザー7名)を配置し、通常の学級に在籍する児童について、アセスメントシートを活用した見取りから要因分析を行い、支援が必要な児童を特定し、具体的な支援のあり方についての知見を高める研究等を行い、特別支援教育の充実を図ります。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	・発達障害早期支援研究事業運営協議会の設置	・発達障害早期支援研究事業運営協議会の設置
	・専門的な指導員の配置(拠点校アドバイザー1名・指定校アドバイザー7名)	・専門的な指導員の配置(拠点校アドバイザー1名・指定校アドバイザー7名)
	・ばりっ子チャレンジ教室の充実(年間8回)	・ばりっ子チャレンジ教室の充実(年間8回)
	・関係機関との連携	・関係機関との連携

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
・ばりっ子チャレンジ教室の充実(年間8回) ・関係機関との連携	・ばりっ子チャレンジ教室の充実(年間8回) ・関係機関との連携	・ばりっ子チャレンジ教室の充実(年間8回) ・関係機関との連携

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	6,997千円	7,315千円	100千円	100千円	100千円	
内訳(千円)	国・県支出金	6,997	7,315			
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0)	0	100	100	100
人工数	職員	0.30人	0.15人	0.01人	0.01人	0.01人
	臨時職員等	0.30人	0.30人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 2,790千円	1,650千円	93千円	93千円	93千円	
①+②総事業費	(0千円) 9,787千円	8,965千円	193千円	193千円	193千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童が増加の傾向にあることから、特別な支援を必要とする児童を早期に発見し、支援をするための仕組みを構築することが求められるなか、国の事業を受けそれらの推進を図ります。	支援の体制づくりとともに、実際に運用するなかで成果を上げていくことが求められます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	基本方針「障害がある児童生徒の途切れのない支援」の達成に貢献すると考えます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 第二次名張市子ども教育ビジョン
発達障害の可能性のある児童を早期発見し、学校へ有効な支援の手だてを引き継ぎ、それら一連の取組を通して、特別支援教育に係る支援力が向上していくものと考えます。	